

	INF	REF	子ども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
2月	0	0	0	231	11	242	26	68	150	24	54	617	1,181
3月	401	185	242	161	7	996	1,212	66	225	121	83	665	3,368
累計	7,295	3,749	6,059	1,393	73	18,569	12,631	517	2,650	1,681	1,206	7,729	44,983

📁 今月のレファレンス記録票から

分類

質問と内容

196.3 日本で最初にクリスマスが行われたのはいつか。

『よくわかるクリスマス』（教文館 2014）第9章「日本におけるクリスマスの歴史」p.133～134に「記録に残されている範囲で最古のキリシタン時代のクリスマスは、1552年12月、コスメ・デ・トルレス神父を中心としたイエズス会士たちによるものである」、「トルレスは、フランシスコ・ザビエルと共に来日した、最古参の日本伝道メンバーの一人である」との記述がある。

また、『クリスマス どうやって日本に定着したか』（クラウス・クラハト、克美・タテノクラハト／共著 角川書店 1999）p.16に「キリシタン時代といわれる当時、クリスマスはポルトガル風にナタラ、あるいはナタルと呼ばれていた。（中略）日本で最初に表われたナタラの記録は、1552年12月25日（天文21年12月10日）のもので、ザビエルが日本を去ったあと、周防の山口町（山口県）に残ったC・トルレス司祭のもとに行われたものである。このときのクリスマスが現存する文献ではもっとも古いものとされている」と記述があった。

291.3 品川の辺りに「城南五山」という山があると聞いた。その山の名前及び場所を知りたい。

「城南五山」というキーワードで所蔵検索したところ、未所蔵ではあるが、『東京人 2015年1月増刊号』（都市出版）に「あこがれの城南五山を楽しむ」という記事があることが分かった。

国立国会図書館デジタルコレクションで検索したところ、「広報しながわ 平成29年1月1日号」（品川区）の品川区長とコラムニスト泉麻人氏の対談の中に「区長 あのエリアには「山」がある。鳥津山、池田山、花房山。これに八ツ山、御殿山を加えて、城南五山と言います。しながわ観光協会では「五山巡り」というツアーもやっているんですよ。」との記載があった。

一般社団法人しながわ観光協会のホームページを検索したところ、「城南五山」の観光ガイドが掲載されており(<https://shinagawa-kanko.or.jp/wp-content/uploads/2018/03/gotenyama.pdf> 2021.4.27 確認)、そこには「城南五山（じょうなんござん）は、東京城南地区にある高台5か所の総称である。山の手線の内側、目黒駅から品川駅にかけての地域にあり、御殿山（ごてんやま）、八ツ山（やつやま）、鳥津山（しまづやま）、池田山（いけだやま）、花房山（はなぶさやま）で構成され」とある。また場所を記した地図も掲載されている。

498.5 「時間栄養学」について書かれた本はないか。

農研機構のホームページに、時間栄養学とは、「体内時計を考慮に入れた栄養学」のことです。体内時計を扱う生物学を時間生物学と呼び、栄養学とオーバーラップする部分が「時間栄養学」にあたります。基本的には、栄養効果が時刻によって変化するという内容や、栄養素や食品成分によって体内時計が変化するという内容をを取り扱います。」と説明がある。（<http://www.naro.affrc.go.jp/archive/nfri/introduction/chart/0304/chrononutrition.html> 2021.4.27 確認）

『応用栄養学』（講談社 2016）p.202 時間栄養学と健康の章には、「近代の遺伝子レベルの研究により、末梢臓器や器官の時間遺伝子のリセットは光刺激だけでなく食事と摂食リズムも重要な役

割を果たしている。摂食リズムが時間遺伝子による体内時計を制御し、体調管理や体力向上に関与している。食事の内容や量だけでなく、摂食時間も健康に深くかかわっている」との記述がある。

ほかに、『時間栄養学が明らかにした「食べ方」の法則』（古谷彰子／著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2014）や『女子栄養大学栄養クリニックの深夜ごはん』（弥富秀江／著 宝島社 2015）などを提供した。

E 4～6歳くらいの子どもに「人にはいろいろな違いがあつて、それぞれなんだよ」と伝える絵本を探している。障がい、LGBTQなど項目は何でもよいが、偏見の芽を摘み取り、広い心を育む助けになるような絵本を希望する。

①②③は障がい者、④はLGBTQ、⑤⑥は人にいろいろな違いがあることをテーマとして扱っている。

- ①『うさこちゃんとたれみみくん』（ディック・ブルーナ／ぶん え まつおかきょうこ／やく 福音館書店 2010）
- ②『ペカンの木のぼったよ』（青木道代／ぶん 浜田桂子／え 福音館書店 2001）
- ③『ぼくたちのコンニャク先生』（星川ひろ子／写真 文小学館 1996）
- ④『マチルダとふたりのパパ』（メル・エリオット／さく 三辺律子／やく 岩崎書店 2019）
- ⑤『かっくん どうしてボクだけしかくいの?』（クリスチャン・メルベユ／文 ジョス・ゴフィン／絵 乙武洋匡／訳 講談社 2001）
- ⑥『ようこそ!ここはみんなのがっこうだよ』（アレクザードラ・ペンフォールド／作 スーザン・カウフマン／絵 吉上 恭太／訳 鈴木出版 2020）

K813 「栗がはぜる」、「焚火のはぜる音」などに使われている「はぜる」という言葉が載っている児童書が見たい。

はぜるは「爆ぜる」と書き、草木の実などが割れて飛び散るという意味である。

火を扱う表現が出てくると思われる児童書を調べたところ、次の資料で確認ができた。

- ①『魔法使いハウルと火の悪魔』（ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／作 西村醇子／訳 徳間書店 2001）P.47
- ②『農場の少年』（ローラ・インガルス・ワイルダー／作 恩地三保子／訳 福音館書店 1978）p.42、p.265
- ③『注文の多い料理店』（宮沢賢治／作 岩波書店 2000）「どんぐりと山ねこ」 p.21
- ④『クリスマス・イブ』（マーガレット・W.ブラウン／ぶん ベニ・モンテソール／え やがわすみこ／やく ほるぷ出版 2003）p.22

他にもこんな質問ありました（クイック・レファレンスから）

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など
I/V6	西條八十作詞の「手児奈」の歌詞が載っている資料が見たい。	⇒『舞踊小唄名曲集 第4集 村の編笠・手児奈』（日本蓄音機商会 1940）を提供。
492.8	マスクの歴史が知りたい。	⇒『感染症時代のマスクの教科書』（飯田裕貴子、眞鍋葉子／共著 小学館 2020）p.44～49に産業用及び医療用マスク、『マスクの品格』（大西一成／著 幻冬舎メディアコンサルティング 2019）p.38～39に日本のマスクの歴史が各々記載されている。また、日本衛生材料工業連合会のホームページのマスクの雑学編（ https://www.jhpia.or.jp/product/mask/mask3.html 2021.4.27 確認）にもマスクの歴史が掲載されている。
A440	「宇宙が広がっている」ことについて、中学生向けに書かれた本が見たい。	⇒「宇宙は膨張している」という記述がある資料から以下の図書を紹介した。 ①『親子で読もう宇宙の歴史』（池内了／文 小野かおる／絵 岩波書店 2012） ②『14歳からの宇宙論』（佐藤勝彦／著 河出書房新社 2015） ③『ハッブル宇宙望遠鏡がとらえた宇宙の不思議』（沼澤茂美、脇屋奈々代／共著 誠文堂新光社 2011） ④『僕たちは、宇宙のことぜんぜんわからない』（ジョージ・チャム、ダニエル・ホワイトソン／共著、水谷 淳／訳 ダイアモンド社 2018） ⑤『佐藤勝彦博士が語る宇宙論のきほん』（ニュートンプレス 2018）